

令和7年度 鹿児島県コミュニティづくり推進大会 第69回

《大会テーマ》

「ある」をつなげる 「違い」を活かす
持続可能な地域づくり

- ・日時：令和8年2月5日（木）13:00～16:30
- ・場所：【推進大会】 カクイックス交流センター県民ホール、大ホール
【地域貢献活動パネル展】 " 県民ホール ホワイエ

1	開会挨拶 鹿児島県コミュニティづくり推進協議会会長	13:00～13:05
2	表彰式 令和7年度鹿児島県共生・協働型地域コミュニティづくり推進優良団体表彰 ～休憩（15分）～	13:10～13:25
3	基調講演 《テーマ》持続可能な地域づくりに向けた「やねだん」の取組について ～地域づくりは国づくり 地域創生は現場の一歩から ～文化向上と社会福祉は永遠のテーマ～ 《講師》豊重 哲郎 氏（柳谷自治公民館 館長） ～休憩（15分）～	13:40～14:40
4	分科会 【分科会1】持続可能な自立した地域コミュニティづくり 【分科会2】企業・NPOなど多様な主体との連携による地域コミュニティづくり 【分科会3】日本人と外国人が共生する地域コミュニティづくり	14:55～15:50
5	全体会	16:00～16:30
6	閉会	16:30

主 催：鹿児島県コミュニティづくり推進協議会
共 催：鹿児島県
後 援：鹿児島県教育委員会

令和7年度 鹿児島県共生・協働型地域コミュニティづくり推進優良団体表彰

鹿児島県コミュニティづくり推進協議会では、共生・協働による地域社会づくりに積極的に取り組み、成果を上げている団体・企業・学校を、共生・協働型地域コミュニティづくり推進優良団体として表彰し、広く県民に紹介しています。

〈地域コミュニティ組織部門〉

会長賞	重富校区コミュニティ協議会	姶良市
<p>「喜びと笑顔が広がる重富校区」をキャッチフレーズに課題解決を図り、「共に助け合い、みんなでつくる活力ある地域コミュニティ」の構築を目的として地域活動を行うとともに、「PTAからPTCAへ～PTAとコミュニティの連携」を基本方針に掲げ、学校と地域が協働した子育て人育てを行っている。</p> <p>多様な事業所や学校と協働して子どもや大人向けに多種多様な体験活動を行う「けんのひら塾」、地域見守り活動、看板・標識清掃活動、いきいきサロン支援、募金活動、少年の主張、グラウンド・ゴルフ大会、ペタンク大会、各種教室など、幅広い年齢層の参加拡大を図りながら、様々な事業を実施している。</p>		
優秀賞	丹波校区自治公民館連絡協議会	指宿市
<p>住民の教養の向上、生活文化の振興、社会福祉の増進や環境の浄化など、明るく住みよいまちづくり活動を推進している。主な活動として、海ごみゼロ活動、平和学習会、もちつき大会、登下校見守り活動、伝統芸能継承などの行事を関係機関と協働で取り組み、地域の環境整備や住民の教養向上、青少年の健全育成などに貢献し、各行事への地域住民の参加数も多い。</p> <p>令和5年度は自治会加入者減少という市全体の課題解決に取り組むモデル事業校区として各種活動を行い、自治会加入率向上を実現した。</p>		

〈NPO部門〉

優秀賞	特定非営利活動法人マザリープロジェクト	鹿屋市
<p>鹿屋市を中心とした大隅地区において、外国籍又は外国につながるルーツを持つ人々が地域で孤独を感じず、日々の生活に不安や困難を感じることがないよう、地域住民との交流を促進し、国籍や人種、宗教等に関わらず、みんなが笑顔で共に暮らしていく地域社会の実現を目指している。</p> <p>日本語教室、異文化理解のための市民講座、高校生ボランティアによる外国籍児童の学習会、小学校での外国籍児童への日本語指導、ハラルの代替え給食の学校への配達、外国につながる住民の生活相談や近隣住民との交流イベント、日本人住民への異文化理解講座の実施などの活動を精力的に実施している。</p>		

奨励賞	南九州スポーツクラブ	南九州市
子どもから高齢者まで誰もが気軽にスポーツに親しめる環境を整え、健康の増進と体力向上を図るとともに、スポーツを通じた交流により地域のつながりを深めることを目的とし、「いつでも どこでも だれでも気軽にスポーツ」をキャッチフレーズに、地域コミュニティの活性化に取り組んでいる。各種スポーツ教室や定期的なクラブ活動による「みる する 支える」そして「つどう」スポーツ環境を提供し、世代間交流と地域の一体感を促進するとともに、スタッフ・指導者の育成や安全管理の充実を図り、持続可能なスポーツ活動を支援している。		

〈企業部門〉

会長賞	株式会社アルバック 九州工場	霧島市
本業を通じた社会貢献に加え、「地域貢献活動」「環境貢献活動」「次世代育成教育支援活動」の3つの重点課題を軸に、保有する技術や人材を活かし、地域に役立つ社会貢献の実践に努めている。 地域の中高生を対象としたインターンシップや企業見学会の受け入れのほか、近隣小学校の児童に真空実験など科学教育の機会を提供している。また、地域住民の方とのイベントを通して交流を深めるとともに、周辺道路の美化やビーチクリーンアップなどの地域清掃活動を継続している。さらに「九州森林の日」連携行事に合わせた植樹祭に協賛し、持続可能な森林づくりにも貢献している。		

〈学校部門〉

会長賞	鹿児島県立鶴翔高等学校	阿久根市
令和6年度の創立20周年を機に、新しい挑戦として、総合学科と農業科を併せ持つ自校の特色を生かし、「産業社会と人間・総合的な探究の時間」での活動を、地域の課題を主体的につかみ、解決方法を探り、探究するものに改善。 生徒たち自身が探究的にアイディアを出し、地域の方々に伝え、地域で具現化する可能性を模索する中で、地域と連携を深め、郷土の自然や資源の豊かさを体験的に学ぶ「主体的で対話的な深い学び」を通して、「地域を愛し守りたい」「地域の人材として未来を生きたい」という思いを育みながら活動を行っている。		
優秀賞	鹿児島県立串木野高等学校	いちき串木野市
地域を愛し、将来地域の発展に寄与する人材育成を目指し、「地元いちき串木野を知ること」「課題を発見すること」「課題解決の提案をすること」を3年間の学びの柱に据え、地域課題の解決を図る探究学習「串木野学」を推進している。 「串木野学」では、高校生の発想を生かし、地元の祭りや郷土芸能を盛り上げるための取組、企業と協働した商品開発や広報活動、高齢者の「ころばん体操」の改善提案、防災無線の音源の作成、大学や企業、メディア機関の企画への参加など、多岐にわたる活動を行っている。		

【基調講演】

講 師 豊重 哲郎 氏 [柳谷自治公民館 館長]



1960年県立串良商業高校卒業後、東京都民銀行入行。1971年にUターンし、養鰻業を開始。

1979年に串良町上小原校区公民館館長に就任（～1997年3月）。

1996年に柳谷自治公民館館長に就任する。以来、行政の補助金に頼らない「全住民参加型の地域づくり」を展開中。

地域活性化伝道師（内閣府）

【分科会・全体会】

【分科会1】持続可能な自立した地域コミュニティづくり

ファシリテーター 種子田 璞紗 氏 [一般社団法人 ARU 代表理事, あいら未来会議プラス副理事長]

霧島市牧園町生まれ。2010年福岡から鹿児島へUターンし、コミュニティカフェ「Kids cafe & Bar LINK」をオープン。その後も「子ども食堂とみんなの居場所 shigetomi」、県「地域づくりプロデューサー養成講座」受講生を軸にした「あいら未来会議プラス」を立ち上げる。2021年、人々が無理なく頼り合える地域づくりを目指し、生きづらさを抱えた人を支援する「一般社団法人 ARU」を設立し、代表理事となる。

パネリスト 豊重 哲郎 氏 [柳谷自治公民館 館長]

小田 健治 氏 [峰山地区コミュニティ協議会 高江一日クラブ 会長]

竹元 磨貴子 氏 [竹子地区コミュニティ協議会 事務局長]

【分科会2】企業・NPOなど多様な主体との連携による 地域コミュニティづくり

ファシリテーター 山本 美帆 氏 [(一社)テンラボ ディレクター]

鹿児島市出身。東京の電機メーカーでの勤務を経て、夫の転勤を機に奄美大島へ移住。2018年「チャレンジ&コミュニティースペース HUB a nice d！」をオープン。2022年「株式会社しまのみなと」を設立、子供の可能性を引き出す地域キャリア教育を実施。2025年の「一般財団法人かごしま島嶼ファンド」（通称：島嶼基金）の設立に携わり、理事兼事務局長として活躍している。

パネリスト 泊 浩伸 氏 [株式会社奄美大島開運酒造 常務取締役]

藤田 香澄 氏 [労働者協同組合こだち 理事]

福山 克哉 氏 [宇検村区長会 会長]

【分科会3】日本人と外国人が共生する地域コミュニティづくり

ファシリテーター 酒井 佑輔 氏 [鹿児島大学法文学部 法経社会学科 准教授]

メキシコ日産、ブラジル国際アグロフォレストリー研究センターインター、東京農工大学大学院等を経て 2012年に鹿児島大学生涯学習教育研究センター（現：産学・地域共創センター生涯学習部門）、2017年に鹿児島大学法文学部に着任。「多文化共生の地域づくり」や「地域づくりとNPO」などの授業を担当。研究分野は社会教育や移民、多文化共生。鹿児島で多文化共生の地域づくり等をテーマに教育・研究に取り組む。

パネリスト 宮下 仁司 氏 [札元1丁目町内会 会長]

和田 友美 氏 [NPO法人マザリープロジェクト 代表理事]

小竹 真吾 氏 [鹿屋市政策推進課 主幹]